

NEW 新企画!

総科生



総合科学科生・国際共創学科生・先輩

の紹介

総合科学科1年生にはどんな学生がいるの？

総合科学科生 30

Department of Integrated Arts & Sciences

モンティ 別府 史門



大学時代では自分のやりたいことに積極的に挑戦しようと思っています。今所属しているダンスサークルで音楽の編集に携わったことで、音楽に興味を持ち始めました。どうしてこの曲が売れるんだろう、なぜこの曲に惹かれるのだろう、などこれまで自分になかった新しい観点から音楽を考えるようになりました。研究では音楽について心理的アプローチから研究したいと考えています。また、3年生になったらニュージーランドに留学し、語学力向上や異文化理解のみならず、音楽やダンスについても、まだ自分の知らない新しいことをたくさん学びたいと思っています。そして将来は、人を惹きつけられる音楽づくりに携わりたいです。

部活とバイトの両立ができる人No.1



私がラクロス部に入ったのは、サークルではなく部活に入ってしっかり活動したかったのと、新歓で先輩方を見て楽しそうだったからです。部活は月曜に朝練、平日も3時間、土曜日も午前中練習があって忙しいけど、部活のない日にバイトを入れて両立しています。部活に入ってよかったと思える1番の理由は他学部や他学部の先輩と繋がりをもてたことです。学習面では、語学力をつけたいと思っています。去年STARTプログラムで行ったオーストラリアではとても良い経験ができたので、これからもっといろんな国へ留学もしたいと思っています。将来はまだ決まっていらないけど、語学の知識を活かせる仕事に就きたいと考えています。

ペリー 中富 有香

興味津々No.1

サバちゃん

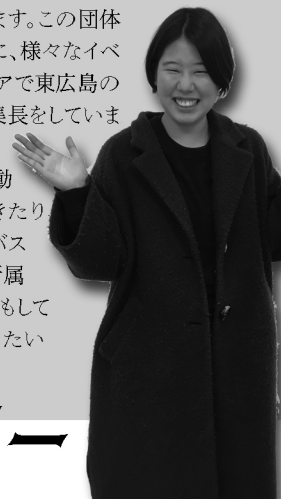
南葉 錬志郎

僕は、高校時代に数学がとても苦手だったので文系を選択しましたが、以前からあった生物や環境の分野への興味を捨てきれなかったため、総科で理転し、2年生からは自然探究領域に進もうと考えています。将来は、博物館の学芸員や環境コンサルタントといった、自然環境や生物に関わる職業に就きたいです。また、地域の環境保全ボランティアなどにも参加したいとも考えています。そのためにも、今はまず理系の知識を補うため、基盤科目を取るなどして頑張っています。また、大学内の博物館で学生スタッフとして勤務して学芸員の業務を経験したり、環境コンサルタントの就職に有利な生物分類技能検定やビオトープ管理士といった資格の勉強をしたりしています。



総科の魅力度No.1

私は、mahoLabo.という学生団体に所属しています。この団体は東広島をまた帰ってきたい街にすることを目的に、様々なイベントを開催したり、Yeastというローカルウェブメディアで東広島の魅力を発信したりしています。私はそのYeastの編集長をしています。Yeastの責任者として、学生が東広島を身近に感じてもらえるように日々活動をしています！この活動を通じて、大学生だけでなく地域の人の縁ができてきたり、書くことが好きになりました。他には、総科のバスケットサークルやPDEというアカペラサークルにも所属しており、また総合科学科のイベントを運営する幹部もしています。本当にやりたいことを見つけるために、やりたいことはなんでも一度やってみようとしています。



自然大好きな人No.1

佐藤 歩 ウォーカー

総科の超人度No.1

ムロ 松室 一馬

旅に興味を持ったきっかけは、TABIPPOという若者に旅を広める企業の学生スタッフをしている先輩に勧められたことです。非日常的な感覚を味わえるところが旅の魅力で、未知の景色や食べ物、人に出逢えるという楽しみがあります。旅をしていて何が一番苦勞するかというと、トイレです。特に途上国では紙をトイレに流すことが出来ないから結構不便です。特にインドや中国などのアジアの国々のトイレはある意味、必見です。(笑) 次は、ボリビアのウユニ塩湖に行きたいです。そして、世界一周も死ぬまでにはしたいと思っています。旅では必然的に予想外の事が起きるから、色々な物事に臨機応変に対応できる人間になっていきたいです。



国際関係に興味があって、今まで20か国ほど海外に行きました。その時は外にばかり関心がありましたが、実は本質は足元にあるんじゃないかと思い直し、政治に関心をもつようになりました。また僕は元々人の心の働きにも興味があり、人の心の働きと政治の関係について考えたいなと思っていて、政治哲学という分野に出会いました。今は哲学に没頭していて、哲学者ヘーゲルがいたドイツのチュービンゲン大学(Tübingen Universität)に留学して、人の精神がどう発達していくか(精神現象学)を学びたいと考えています。将来は学んだ政治哲学を生かして弁護士になることを目指しています。“人生は積分”一瞬一瞬を刻んでいくことで人生が作られるということを心に留めて、努力し続けています。

旅のことなりNo.1

フリーザ 廣瀬 詠太郎

ちえり 木内 桜子

期待度No. 1な次世代福祉の担い手

以前から英語をもっとしっかり勉強したいと感じており、それがきっかけで海外に興味を持ちました。そこで、今年は広大生協のパンフレットで見つけたプログラムに参加してシドニーを訪れました。現地ではたくさん英語を使えたのですごく嬉しかったです。英語は、学校では文法を間違えないように気をつけながら書いたり話したりしなければなりません。しかし、外に出て実際に話すとなると、文法など細かいことはあまり気にせず、とりあえず思いついた単語を並べるだけでも意外と伝わるといことがわかりました。今後はさらなるステップアップを目指して、海外でのインターンに参加したいと考えています。そして、将来はそれらの経験を活かして、国際的な仕事に就きたいです!



総科生としては珍しいのですが、ボランティアサークルBBSに所属しています。BBSとは、Big Brothers and Sisters movementの略で、非行をしてしまった子どもたちの良き兄や姉となろうというコンセプトで活動しているサークルです。具体的な活動内容としては、更生施設の子どもの勉強を教えたり、その施設のイベントを運営したりするなど、多くの場面で子どもを支える活動をしています。将来の夢は、このサークルで得ている経験を活かして、前科持ちや虐待のある家庭で育った子どもや、そうでない子どもも含めて、様々なバックグラウンドを持っている子どもたちの成長や前進をサポートすることです!



日本も海外も飛び回る人No. 1

池谷 彩希 しいけさん

レジェンド 三浦 良介

僕は小学校からサッカーをやっていて、課外活動として高校から始めたCPサッカー(Cerebral Palsy/脳性まひ)の日本代表に選ばれて3年目になります。普段は総科サッカーというサークルや社会人チームで練習して、月に数回、代表合宿に参加するという感じです。大学では世界大会に出場した経験を通して興味を持った、国際関係の勉強や英語に力を入れて頑張っています。でもなにより色々な人と関わって、大学生活を楽しむこと!!それもサッカーと同じくらい大事にしています(笑) 将来については、海外のプロチームも視野に入れながら、今まで皆に助けられて生きてきた分、今度は自分が人をサポートする様な仕事に就きたいと思っています!



縦横無尽に駆け回る男

次は IGS 国際共創学科生